

## 平成30年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(平山集会所)

開催日時	平成30年10月19日(金)午後7時から午後8時30分 天気 曇り
場所	平山集会所
町民参加者	男15人 女3人 (40代以下1人、50代3人、60代以上14人)
町出席者	町長、教育長、参事兼企画政策課長、総務防災課長、農林課長、商工観光課長、生涯学習課長、事務局2人

### 出席者から出た主な意見や提案

#### 《テーマ：防災対策について》

- 7月に連合自治会で、防災リーダー研修に行ったが、実感が湧かない。5～6年前にも話があったが、自治会の役員は数年で交代してしまう。自治会の防災組織は都度人が変わる防災組織となってしまう。本番の災害の時に機能するかが不安である。良い考えがあれば教えていただきたい。
- 防災無線について、現在使用している戸別受信機の録音時間が短く、改善を求めたら、所有者負担で修理をさせられた経緯がある。デジタル化の際は、戸別受信機の選定は慎重におこなっていただきたい。
- 近年、台風などが来ると、停電になることが多い。山北町でも先日、三保や川西や向原で停電が起きた。役場庁舎が停電した場合に、自家発電でどの位の時間機能するのか。また、防災無線は、どの位の時間使用できるのか。さらに、各地域に集会所があり避難所になっているが、各集会所に発電機を常設していただきたい。
- ハザードマップを見ると、平山地区ではいざという時に避難所になるところが無いような気がする。以前に家屋が倒壊した時にどこに避難をすればよいのか考えた事がある。平山集会所が避難所になっているが、スペースに限りがあるので被災した方の人数によっては、収容できない。また、ハザードマップでは平山集会所も土砂災害警戒区域に指定されているので、安全とは言えない。他に避難先として、大型駐車場となっているが、屋根が無く、泊まることができない。地理的に北足柄が近いので、内山に北足柄小学校や閉校になった北足柄中学校もあるので、橋が壊れないことが前提だが、行政区域を跨ぐことにはなるが、避難することは可能なのか。学校施設等が無い平山地区で、家屋倒壊や土砂災害の時に、どこに避難すればよいのか考えを聞きたい。
- 最近のニュースを見ると、大きな災害がよく起きている。大きな事故が起きる時は想定外の事が多い。町ではデジタル化など立派な整備をするのは良いが、例えば、防災無線から音が出ていない時に音が出ているか出ていないかなどの故障の確認はできるのか。また、64子局が寸断された場合は、どのような方法で伝達するのと言うマニュアルは作られているのか。できていない

ようであれば、防災訓練などの時に、情報伝達訓練をやってはどうか。

○災害の大きさにもよるが、平山地区では他の地域から入れる場所は3箇所全て橋からの進入になる。過去の話だが、滝沢川が溢れたことがある。その中で、オートバイを含めた情報伝達と言うが、川を渡る事になると、渡れるかどうか難しいと思う。そこで、今流行っているドローンが使用できる体制を早急に整備して欲しい。また、災害の時に電気は必要になるが、水や火も必要になってくる。水を運ぶことになった場合に、平山地区に入れるかわからない。その時に、濾過機で対応することも考えなくてはならないのではないかな。

○平山地区には誘致企業が3社あり、今後4社になる可能性もある。企業とタイアップして水や避難場所などの確保ができる交渉や協定などを考えていただきたい。

○企業との支援体制の訓練や教育も定期的を実施していただきたい。

○企業との協力について、企業の善意に頼っていくと言う話が進んでいった場合に、町からの補助とかはあるのか。

#### 《テーマ：その他》

○洒水の滝は名水・名瀑の滝であり観光客も増えているので、今のトイレを改築する方向で水洗トイレにできないのか。

○オリンピックなどが今後あり、外国人観光客が増加する可能性があるため、トイレの洋式化をお願いしたい。

○水洗の仮設トイレを常設することはできないのか。